

資金分配団体 審査会議 議事概要

通常枠第2回 草の根活動支援事業・災害支援事業

1. **日時**：2024年2月2日（金） 開会 13：00－閉会 15：00
2. **場所**：東京都千代田区内幸町2丁目2番3号日比谷国際ビル 314
JANPIA 事務所内 大会議室、Zoom
3. **審査委員（敬称略）**
 - ・ 山内亮太（株式会社 ESCCA 代表取締役）[議長]
 - ・ 菅野拓（大阪市立大学大学院文学研究科准教授）
 - ・ 米田 佐知子（子どもの未来サポートオフィス代表）
 - ・ 石田祐（関西学院大学人間福祉学部社会起業学科教授）
 - ・ 粟津知佳子
 - ・ 審査事務局：JANPIA

4. 議題

2023年度通常枠 第2回草の根活動支援事業・災害支援事業の審査

5. 申請の状況

- (1) 草の根活動支援事業：8団体 8事業（全国：2事業、地域：6事業）
- (2) 災害支援事業：3団体 3事業

6. 議事の前提

- ・ 審査会議では、公募要領に定める「選定基準」とともに、「選定配慮事項・優先選定」に留意し審査を行った。
- ・ 審査は、草の根活動支援事業、災害支援事業の区分ごとに行った。
- ・ 審査委員は審査会議に先立ち、事務局から送付された「申請書類」に基づいて手元審査を行い、審査の過程で生じた疑問については、審査委員にて分担し、各選定申請団体のヒアリングを行った。
- ・ 審査委員は手元審査・面談結果を受け、その結果を事業ごとにコメントとして整理し、審査会議に臨んだ。

7. 議事要旨

審査委員 5名の出席により、山内審査委員が議長を務め、審査を行った。議事においては、各審査委員が事前に実施した手元審査の結果を踏まえたコメントを相互に確認しながら検討し、「JANPIA 理事会に対して、選定を推薦する事業」の選定を行った。

なお、審査委員へ選定申請団体名について事前に共有し、利益相反についての自己申告があった事業については、当該団体の審査には加わらなかった。

〈利益相反自己申告の状況〉

- ・米田 佐知子
 - 特定非営利活動法人全国こども食堂支援センター・むすびえ
 - 特定非営利活動法人フリースクール全国ネットワーク

災害支援事業

申請のあった事業について、各審査委員が推薦すべきとする意見が多いものから検討を行った。

(1) JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の1事業

以下の事業については、審査委員全員から推薦すべきとの意見があり、推薦することとした。

- 特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム

(2) 推薦を見送ることとなった事業：以下の2事業

以下の事業については、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

- 特定非営利活動法人宮崎文化本舗
- 公益財団法人風に立つライオン基金

草の根活動支援事業

申請のあった事業について、審査を実施した審査委員全員が推薦すべきとする意見が多いものから検討を行った。

(1) JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の1事業

以下の事業については、審査委員全員から推薦すべきとの意見があり、推薦することとした。

- 特定非営利活動法人 ACOBA

(2) 推薦を見送ることとなった事業：以下の7事業

以下の事業については、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

- 特定非営利活動法人全国こども食堂支援センター・むすびえ
- 株式会社イベント・トゥエンティ・ワン
- NPO 法人いるか
- 特定非営利活動法人フリースクール全国ネットワーク
- 認定 NPO 法人北海道 NPO ファンド
- 特定非営利活動法人困窮者支援ネットワーク
- 一般社団法人わの会

以上

資金分配団体 審査会議 議事概要

通常枠第2回 ソーシャルビジネス形成支援事業・イノベーション企画支援事業

1. 日時：2024年2月9日（金） 開会 13：00－閉会 15：00

2. 場所：東京都千代田区内幸町2丁目2番3号日比谷国際ビル314
JANPIA 事務所内 大会議室、Zoom

3. 審査委員（敬称略）

- ・ 高原康次（グロービス大学院 講師）〔議長〕
- ・ 町井則雄（株式会社シンカ 代表取締役社長）
- ・ 永沢映（NPO 法人コミュニティビジネスサポートセンター代表理事）
- ・ 功能聡子（ARUN 合同会社代表）
- ・ 審査事務局：JANPIA

4. 議題

2023年度通常枠 第2回ソーシャルビジネス形成支援事業・イノベーション企画支援事業の審査

5. 申請の状況

- (1) ソーシャルビジネス形成支援：8団体 8事業
- (2) イノベーション企画支援：7団体 7事業

6. 議事の前提

- ・ 審査会議では、公募要領に定める「選定基準」とともに、「選定配慮事項・優先選定」に留意し審査を行った。
- ・ 審査は、イノベーション企画支援事業、ソーシャルビジネス形成支援事業の区分ごとに行った。
- ・ 審査委員は審査会議に先立ち、事務局から送付された「申請書類」に基づいて手元審査を行い、審査の過程で生じた疑問については、審査委員にて分担し、各選定申請団体のヒアリングを行った。
- ・ 審査委員は手元審査・面談結果を受け、その結果を事業ごとにコメントとして整理し、審査会議に臨んだ。

7. 議事要旨

審査委員4名の出席により、高原審査委員が議長を務め、審査を行った。議事においては、各審査委員が事前に実施した手元審査の結果を踏まえたコメントを相互に確認し

ながら検討し、「JANPIA 理事会に対して、選定を推薦する事業」の選定を行った。
なお、審査委員へ選定申請団体名について事前に共有し、利益相反についての自己申告があった事業については、当該団体の審査には加わらなかった。

〈利益相反自己申告の状況〉

・高原康次

—特定非営利活動法人放課後 NPO アフタースクールのコンソーシアム構成団体である
READYFOR 株式会社

ソーシャルビジネス形成支援事業

申請のあった事業について、各審査委員が推薦すべきとする意見が多いものから検討を行った。

(1) JANPIA 理事会に対し推薦する事業：0 事業

(2) 推薦を見送ることとなった事業：以下の 8 事業

以下の事業については、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

- 株式会社ボーダレス・ジャパン
- 認定特定非営利法人日本都市計画家協会
- 特定非営利活動法人こどもたちのこどもたちのこどもたちのために
- 株式会社 D ホールディングス
- 特定非営利活動法人日本子守唄協会
- 株式会社全農ビジネスサポート
- 公益社団法人日本サードセクター経営者協会
- 株式会社 Dooox

イノベーション企画支援事業

申請のあった事業について、各審査委員が推薦すべきとする意見が多いものから検討を行った。

(1) JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の 2 事業

以下の事業については、審査委員全員から推薦すべきとの意見があり、推薦することとした。

- 一般社団法人日本シングルマザー支援協会
- 特定非営利活動法人放課後 NPO アフタースクール

(2) 推薦を見送ることとなった事業：以下の5事業

以下の事業については、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

- 公益社団法人日本 WHO 協会
- 一般社団法人アスバシ
- 公益財団法人あいちコミュニティ財団
- 一般社団法人福岡デザインアクション
- 関内イノベーションイニシアティブ株式会社

以上